



介護現場のケアマネジメントを、  
あなたの手に。

介護保険制度持続可能性を支える  
AIケアマネジメント基盤

## 株式会社Nicoは、 AIと現場視点で介護DXを支える開発会社である

起 | はじまり  
会社概要

### COMPANY PROFILE

会社名	株式会社Nico (NICO Inc.)
所在地	〒759-5331 山口県下関市豊北町神田3489-2
電話番号	050-5799-0339
設立	2024年9月26日
代表	代表取締役社長 三好 美和
資本金	20,000,000円

### MISSION / BUSINESS

<b>MISSION</b>	テクノロジーと笑顔で、 すべての人が主役になれる社会を。
<b>VISION</b>	介護DXのその先へ。 次世代のスタンダードを構築する。
<b>VALUE</b>	User First / Innovation/Speed
<b>事業内容</b>	WEBアプリ開発 / 介護ソフトウェア AI・DX・経営支援

## 弊社代表は、在宅看取りの原点と 資格横断・現場22年の知見でnicocareを開発

起 | はじまり

### 代表プロフィール

#### DEVELOPMENT STORY

##### 原点：在宅での看取り体験

- 1 介護保険制度前、看護師の母と家族で祖父を在宅看取り。「幸せだった」と旅立つ姿が原点。

##### 僻地医療で得た確信

- 2 22歳で町民病院へ。手術室・外来・病棟・ICUを担い、限界地域の課題が全国化すると確信。

##### 事業立ち上げと現場22年

- 3 大学在学中にデイ1号店を開設。山口県初、医療的ケア登録研修機関。祖父母を最期まで支え、老人ホーム・訪問・居宅まで運営。

##### 既存ソフトの限界と開発決意

- 4 12年使っても活用3割、AI非搭載。現場を知る者がゼロから作ると決意。

##### 専門性と事業運営が、そのまま設計要件になる

- 資格横断：看護師 / 主任介護支援専門員 / 介護福祉士 / 産業保健師
- 教育・安全：実務者研修・医療的ケア教員 / 養護教諭 / 第一種衛生管理者
- 介護経営：有料老人ホーム・デイサービス・訪問介護・居宅介護支援を運営
- 宿泊事業：リゾートヴィラ ヴィラミクリ角島を展開



代表取締役  
三好 美和

# 開発の苦労は、現場制約を 誰でも使えるAI設計へ変える工程だった

承 | 挑戦

開発を知る

## DEVELOPMENT TO DESIGN

- 1 経営と開発の並走**  
3年間、1日3~4時間睡眠で365日稼働。  
運営・教育・監査を止めず、開発判断を継続。
- 2 誰でも使える操作性とAI精度**  
記録担当が1~2人の現実に合わせて、資格がない職員でも迷わない導線とAI出力を反復。
- 3 多様な事業形態への対応**  
特養・老健・デイ・居宅で異なる書類・様式・監査観点を、  
共通化と個別対応に整理。
- 4 小規模チームでの優先順位**  
小数以開発・サポート・営業を担うため、要望を並べ、現場価値が高い順に実装。

### 制約から生まれたnicocareの強み

- 入力：専門職でなくても迷いにくい記録導線
- 監査：事業形態ごとの書類・チェック観点を整理
- AI：現場語でプロンプトを磨き、記録品質を底上げ
- 運用：小規模事業所でも続く費用感とサポート優先

現場制約	AI設計の前提
<b>3年</b>	現場運営と開発を並走 教育・監査対応まで継続
<b>1~2人</b>	記録担当が限られる現実 誰でも使える導線が必要
<b>小数</b>	小規模チームで兼務 実装優先度を絞り込む
<b>制約をAI設計へ変換</b>	

# ケアマネジャー確保を難しくする要因は、業務構造にある

処遇・業務範囲・事務負担が重なり、新規採用と定着の両方を難しくしている。

承 | 問題提起

課題を捉える

<p><b>1</b> 処遇・賃金水準</p> <p>専門性・責任の重さに対して、待遇面の納得感をつくりにくい。</p> <p>応募数が伸びにくい</p>
<p><b>2</b> 業務範囲の広さ</p> <p>利用者・家族・事業所・行政を横断し、調整と説明が集中する。</p> <p>一人当たりの負荷が高い</p>
<p><b>3</b> 事務負担の大きさ</p> <p>記録・帳票・確認・監査準備が積み上がり、現場時間を圧迫する。</p> <p>疲弊と離職リスクが増える</p>

**採用だけでは解けない構造**

採用難	新規確保が難しい
▼	
負担増	既存職員に業務が集中
▼	
時間不足	記録と調整に追われる
▼	
離職リスク	さらに採用が難しくなる
<b>業務構造から変える必要がある</b>	

nicocareで軽くする作業層

文章化	情報整理	整合性確認	監査根拠
-----	------	-------	------

人を増やす前に、専門職が判断とケアに使える時間を増やす。

## 現場は、書類と日課に追われている

書類の山で時間にゆとりがなく、現場に時間を割けていない

### 今の現実を洗い出す



#### 書類が積み上がる

記録・帳票・請求確認・会議資料・監査準備が毎日発生する。



#### 時間に余白がない

期限に追われ、利用者・家族・職員との対話や観察が後回しになる。



#### 日課を繰り返す毎日

同じ入力、同じ確認、同じ転記。考える時間より処理する時間が増えている。

### 現場のリアル

「書類を終わらせるだけで一日が終わる」

「本当は現場を見たいのに、確認作業に追われる」

結果：現場の変化や違和感が、記録・計画・改善につながりにくい

nicocareは、書類時間を減らし、現場に向き合う時間を取り戻す。

承 | 問題提起

現場を見る

## 事業所単位では、少人数でも質を保てる運営に変わる

### 🕒 作成時間削減

これまでゼロから文章を作成していた業務を、AIが下書きとして整理することで、ケアプラン・書類作成の時間を大幅に削減します。

### ✔️ 確認負担軽減

AIが一定の整合性や記載内容を補助することで、管理者や主任ケアマネジャーの確認・修正コストを削減します。

### 🛡️ 監査リスク軽減

記載漏れや不整合を事前にチェックし、監査対応の不安を軽減します。

### 🎓 新人教育支援

経験の浅い職員でも一定水準の書類作成が可能になり、教育負担を減らします。

### ❤️ 利用者対応時間増加

書類作業から解放され、本来の業務である対人援助に集中できます。

nicocareは、業務負担・監査リスク・教育負担を同時に軽減する。

転 | 解決へ

運営が変わる

## 導入前後で何が変わるのか

ケース：ケアマネ3名 / 月20日稼働 / 時給換算2,500円 / 書類・記録関連 3.0h→0.5h/日

ケアマネジャーの効果	
導入前	書類・記録 3.0h/日
導入後	0.5h/日
+50h/月をケアへ	

介護事業所・経営者の効果	
導入前	90h/月が書類作業
導入後	45h/月へ圧縮
約11.25万円/月相当	

現場スタッフの効果	
導入前	確認・手戻り 多い
導入後	確認点が明確
心理的負担を軽減	

### 年間換算のインパクト

ケアマネ1名  
+600h/年をケア・面談・確認へ

事業所全体  
+1,080h/年の時間創出

人件費換算  
約270万円/年相当

数字で見ると、nicocareの価値は「効率化」ではなく、ケアに使える時間と経営余力を生むこと。

転 | 解決へ

効果を試算する

## AIで解ける。ただし、従来の介護ソフト・一般AIでは届かない

必要なのは文章を作るAIではなく、現場運用・根拠・監査説明までつながるAIです。

転 | 解決へ

限界を超える

1

従来ソフト

記録・請求・管理が中心で、判断材料の整理までは弱い。

2

一般AI

文章生成はできて、現場の根拠と制度運用に接続しにくい。

3

必要な水準

監査に耐える根拠、PDCA、説明可能な運用が必要。

結論

介護AIの差は、作れるかではなく、現場で使い続けられる運用まで届くかです。

## ケアプラン自動化は、介護DXの入口である

転 | 解決へ

業務をつなぐ



nicocareは、入力から書類化までを一気通貫で支援する。

## 大手・他社との違い

比較観点	大手 介護ソフト	一般 AI会社	外部監修型 介護AI	nicocare 実装型AI基盤
記録・請求など基幹業務	◎	×	△	○
文章生成・要約	△	○	○	○
帳票補助・下書き	○	△	○	○
アセスメント～課題分析	△	△	△	○
目標・サービス・ モニタリングー貫性	△	×	△	○
監査で説明できる 根拠づくり	△	×	△	○
現場PDCAによる継続改善	△	×	△	○
専門職本人による 直接設計	×	×	△	○
到達レベル	基幹システム	文章生成	外部監修に依存	監査を通る運用

nicocareは、記録・生成だけでなく、監査を通る運用まで一貫して支援できる。

結 | 納得へ

違いを比べる

## nicocareは、監査を通る運用レベルまで到達できる

差は「AIで作れるか」ではなく、「監査を通る運用レベルまで到達できるか」



だから、多くのAIソリューションはSTEP3の壁を超えられない。nicocareはSTEP5まで設計・運用できる。

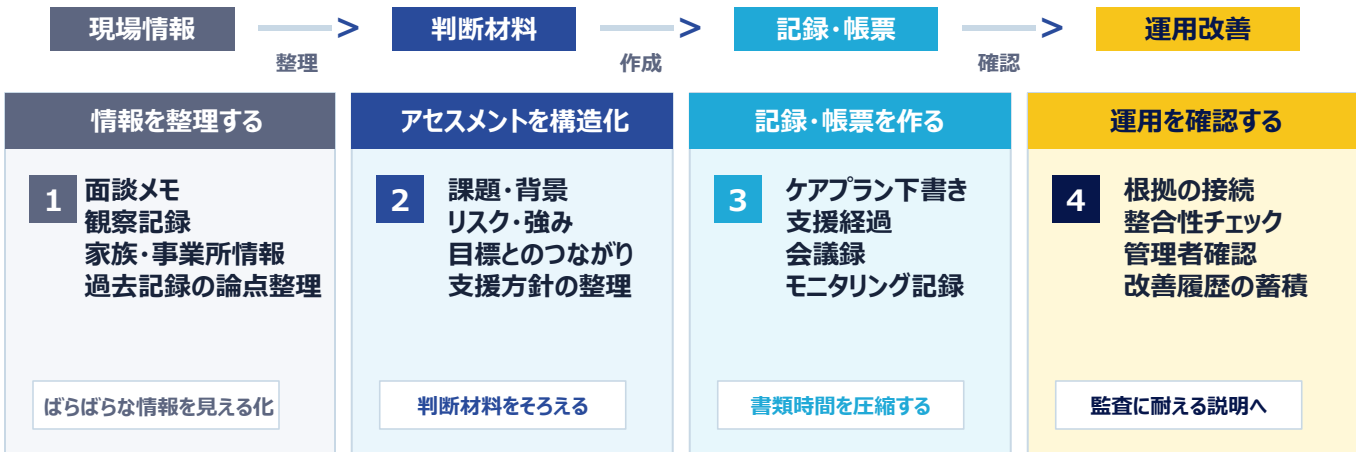
差は、監査を通る運用まで設計できるか。

結 | 納得へ

到達点を見る

## nicocareでできること

ケアプラン作成支援にとどまらず、記録・帳票・確認・監査説明まで一体で支える。



結 | 納得へ

全体像を掴む

**できることの要点** 文章生成だけではなく、ケアマネジメント業務全体の「整理・作成・確認・改善」を支援する。

専門職の判断を支える

現場時間を増やす

説明できる運用にする

nicocareは、ケアマネジャーを代替するAIではなく、専門職がケアに向き合う時間を取り戻す基盤です。

## 他社に真似されにくい理由は、代表の横断専門性にある

制度理解だけでは足りないケアマネジメントを、医療・生活・家族・職員負担・監査対応まで一体で見立てる。

結 | 信頼へ  
強みを示す

### CROSS-DOMAIN EXPERTISE

#### 1 介護

主任介護支援専門員  
介護福祉士

#### 3 保健・教育

産業保健師  
実務者研修教員 / 養護教諭

#### 2 看護・医療

保健師/看護師  
医療的ケア教員

#### 4 労務安全

第一種衛生管理者  
職員負担・安全管理

代表自身が複数領域を理解しているため、専門家の寄せ集めではなく、現場判断を一つの業務設計へ統合できる。

### CARE MANAGEMENT LENS

#### ケアプランで見立てるべき領域

- 身体状態
- 疾患・服薬
- 医療的リスク
- 生活環境
- 家族支援力
- 介護サービス
- 職員の実務負担
- 監査対応

AIの出力・チェック観点・業務フローに直接反映

nicocareは、単なる文章生成ではなく、現場で使えるケアマネジメント支援として設計されている。

## 専門職監修ではなく、専門職本人が作っている

結 | 信頼へ  
作り手を示す



▲ 現場知見が伝言ゲームで薄まる



● 現場知見がそのままプロダクトに反映

**代表自身が持つ、横断的な専門性**  
 介護・看護・保健・教育・労務安全の知見を横断的に持ち、その知見をもとにプロダクトを設計している。

<b>介護</b> 主任介護支援専門員	<b>看護</b> 保健師/看護師	<b>介護</b> 介護福祉士	<b>保健</b> 産業保健師
<b>教育</b> 実務者研修教員指導資格	<b>医療</b> 医療的ケア教員	<b>労務安全</b> 第一種衛生管理者	<b>教育</b> 養護教諭

nicocareは、専門職が監修したAIではなく、現場・制度・教育・労務安全まで理解する代表自身が設計したAIである。

## 自社の介護現場でPDCAを回し、監査通過まで確認している

結 | 信頼へ

実証で締める



### 🏆 監査通過実績あり

nicocareは、机上で作られたAIではありません。自社の介護施設で実際に使いながら、現場で発生する課題を把握し、AIの出力や業務フローを改善しています。

nicocareで作成・整理したケアプランや関連記録は、実際の監査対応にも活用され、監査を通過した実績があります。

nicocareが現場で使えるだけでなく、制度上の確認にも耐えた実務AIであることを示しています。

nicocareは、デモAIではなく、現場で使われ、監査を通過した実務AIである。



# nicocare

介護現場のケアマネジメントを、あなたの手に。

株式会社Nico

介護保険制度持続可能性を支える  
AIケアマネジメント基盤